

インターネット上の偽のアカウントや、 嘘の情報にだまされないために

インターネット上には、他人のふりをしてアカウントを作成したり、嘘の情報を書き込んだりするような悪意のある人物がたくさんいます。そうしたアカウントや情報を信用してしまうと、思いがけないトラブルに巻き込まれることもあります。

友だちや企業からのメッセージだと思ったのに……

SNSなどのサービスで友だちからメッセージが来たと思ったら、それが実は悪意のある人物がその友だちになりすましたアカウントで、金銭をだましとられたり、個人情報抜きとられたりしてしまったという事案がたびたび発生しています。



A子@xxxxxx

このアプリ開けないんだけど、ちょっと開いてみてくれない？

<https://xxxxxx>



お客様のアカウントの不正アクセスを検出しました。ただちにアカウント情報を更新してください。

<https://www.xxxxxx>



インターネット上でのなりすましの対象となるのは、特定個人ではありません。実在する企業を装い、不安をあおるようなメッセージを送って偽のサイトに誘導し、個人情報を入力させたり、不正アプリをインストールさせたりするような手口もしばしば確認されています。

インターネット上には嘘の情報がたくさんあります

インターネット上では、誰でも自由に情報を発信することができます。自分の名前を出さずに、匿名で発信することも可能です。そのため、嘘の情報を書き込む人も少なくありません。

特に注意が必要なのが、地震などの災害時です。大きな災害が発生すると必ず、人命や健康に関する嘘の情報がインターネット上に投稿されますが、早く知らせたあげないと、という善意から多くの人がそうした情報を拡散したことで、結果的に被災地の人たちが混乱してしまうという事態が発生しています。

〇〇で水蒸気爆発が
起こる模様です！
速やかに非難してく
ださい！



注意

情報の拡散は発信と同等の行為です！

情報の拡散は、その情報を多くの人に知らせる行為です。そのため、嘘の情報を拡散すると、その情報の発信者と同様に罪に問われる可能性があります。過去には、他者への名誉棄損に該当する投稿を拡散した人が訴えられ、損害賠償を請求されたという事案も発生しています。

インターネット上には、他者や企業等になりすました偽のアカウントや、嘘の情報がたくさんあります。そのため、例えば友だちを名乗るアカウントから送られてきたものでも、あやしいメッセージには反応しないこと、正しいかわからない情報は拡散しないことに注意するよう、子どもたちに指導してください。